

# 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年8月）議事録

日 時：2016年8月26日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：AP東京八重洲通りSルーム

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、  
甲斐裕子、勝村俊仁、川原 貴、栗原 敏、  
後藤勝正、坂本静男、武政 徹、田中喜代次、  
成田和穂、西牟田守、宮地元彦、  
山内秀樹（各理事）、  
清田 寛、小林康孝（各監事）、  
立身政信（第71回大会長・岩手）

欠席者：小野寺昇、下光輝一、須田和裕、竹森 重、  
田畑 泉、能勢 博、浜岡隆文（各理事）、  
井上 茂、定本朋子（各監事）、  
三浦裕正（第72回大会長・愛媛）

## 【審議事項】

### 1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

### 2. 平成28年度庶務報告に関する件について （武政総務委員長）

2016年7月31日現在、会員総数4,362名、新入会員347名、退会者414名（内自然退会228名）、購読数は155団体であるとの報告がなされた。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上会費未納者については第71回岩手大会を期限として、自然退会とすることが承認された。

### 3. 平成28年度会計報告（決算）に関する件について （勝村財務委員長）

資料に基づき、平成28年度決算見込みについて報告がなされた。

収入の部 予算に比べて会費収入が約295万円、大会開催収入が約790万円、研修会収入が約61万円、広告収入が約15万円、雑収入が約4万円増収した結果、年度内収入は別途積立金取り崩し収入を含めて100,388,962円であった。

支出の部 予算に比べて事業費は約139万円、大会開催費が約753万円、国際交流事業経費が約57万円が予算を上回るも、全体の支出としてはほぼ予算額通りで、年度内支出としては、90,114,163円であった。

以上により当年度収支としては10,274,799円の黒字となり、次年度繰越金は60,991,827円になったとの報告があった。本決算については公認会計士にチェックが行われる事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われ、平成28年度決算が承認された。

### 4. 平成28年度事業報告に関する件について （武政総務委員長）

資料に基づき、平成28年度事業報告がなされ、承認

された。

### 5. 平成29年度事業見直しについて（鈴木理事長）

資料に基づき、平成29年度予算についての見直し案が出され、以下①～④の事業見直し案が理事会で承認された。

#### ①プロジェクト研究廃止案について

理事会で本案が承認された。2018年度で現在のプロジェクト研究は全て終了するので、2017年度は200万円、2018年度は100万円計上し、2019年度以降プロジェクト研究予算は0円となる。

#### ②名簿作成費削減について

2016年からオンライン名簿が稼働されている。これに関する支払いは2017年度に持ち越されたため、その予算として100万円計上する必要がある。2017年以降は運用費のみで、年間420,000円の予定である。名簿作成費として年間200万円積み立てていた金額が42万円で済むことになり、2018年度から158万円の削減となる。

#### ③地方会補助金削減案について

現在、学会本部から年総額2,850,000円補助している。中国・四国、近畿、東海、北陸、東北、北海道の6地方会には年額350,000円補助しているが、200,000円に減額、関東地方会には750,000円補助しているが、450,000円に削減すると、総額1,650,000円となり、1,200,000円削減されることが理事会で承認された。これは、2017年8月1日以降の実施となることも承認された。

#### ④学会本大会への補助金削減案について

現在、学会本部から300万円補助しているが、2020年（鹿児島）開催の学会大会から200万円に減額することが承認された。これで、100万円の削減となる。

以上、4つの削減案が理事会で承認された。総額6,780,000円の削減が完全に実施されるのは2019年からである。それまでの間、学会本部積立金を取り崩して不足分を補填していく事になった。

なお、学会誌（体力科学、JPFMS）掲載料の値上げ案について学会員への特典を含めて、編集委員会で再度議論の上で改めて理事会に編集委員会案として提出することになった。

### 6. 平成29年度会計報告（予算）に関する件について （勝村財務委員長）

資料に基づき、予算について説明がなされた。平成29年度事業見直しを受けて、9月の理事会時に予算を改めて提示する事とした。

### 7. 評議員推薦及び評議員選考内規について （大野評議員選考委員長）

評議員選考委員会において申請者22名に対するの審査を行い、その結果21名の候補者が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、2016年度評議員候補者として21名（内、女性7名）を評議員会に推薦すること

が承認された。また、評議員選考内規の内容をより明確な文章で表現するために、付則1)、2)および3)の内容を下記のように修正する案が提示され、承認された。

付則1) 体力医学に関係する領域の研究で学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する、評議員に推薦することができる。

付則2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には別途考慮する、評議員に推薦することができる。

付則3) 研究業績については、原則として、体力医学に関係する原著論文(審査を受けた学術論文の筆頭著者)が5編以上あることを基準として、評議員選考委員会で審議する。

#二重取り消し線：旧内規付則の文言を削除した部分  
下線：新たに追加した文言

## 8. 日本体力医学会健康科学アドバイザー®継続申請者について(碓井称号委員長)

日本体力医学会健康科学アドバイザー®継続申請者16名の氏名リストが掲示され、承認された。(内、終身称号者は4名)

## 9. 第27回スポーツ医学研修会修了試験結果について(碓井称号委員長)

研修会を受講した参加者の内22名が8月7日に修了試験(試験問題50問)を受け、18名が合格(4名不合格)した旨と試験の概要について報告がなされ、承認された。

## 10. 著作権料の設定について(後藤編集副委員長)

資料に基づき、学会の著作物の二次使用について手続きと許諾料の案の報告がなされ、承認された。

なお、許諾料の詳細については、学会HP「学会刊行物の二次使用許諾申請について」(参考URL: <http://www.jspfsm.umin.ne.jp/journal/niji.htm>)に掲載された。

## 11. その他

・体力科学、JPFISMの投稿規定に掲載する利益相反に関する事項について(宮地利益相反委員長)

資料に基づき、学会誌投稿に関する利益相反事項の掲載について報告がなされ、承認された。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

#### 1) 編集委員会(田中委員長)

・体力科学、JPFISM共に順調に進行しており、総説執筆予定者を編集委員会からお願いして、人数

を確保したことが報告された。

・JPFISMでは今年度から会員向けに掲載論文の告知メール配信を始めたこと、原稿カテゴリーとしてCase Reportsの追加など投稿規定の改定を実施した。今後さらに、Study Protocolの追加を予定していることが報告された。

#### 2) 倫理委員会(成田委員長)

・資料に基づき、倫理審査を受け付ける準備を進めていることが報告された。

#### 3) 渉外委員会(永富委員長)

・資料に基づき、ECSS参加報告書について報告された。

・資料に基づき、国際学術交流奨励賞の新設について報告された。今年度は21名の応募があり、渉外委員会の審査の結果、8名に国際学術交流奨励賞を授与することが報告された。

・脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャートの活動報告を、JPFISMに掲載予定である旨が報告された。

#### 4) 学術刊行物小委員会(永富委員長)

・メディカルフィットネスについて報告された。なお、詳細は後日書面にて連絡される旨、報告された。

#### 5) 広報委員会(甲斐委員長)

・将来構想委員会からの意見により、HPの改定案について報告された。

一般の人達でも理解頂けるような、学会の業績が伝わりやすいコンテンツを開発することについて提案があり、理事会で承認され、委員会で検討を進めていくこととなった。

## 2. 第71回大会(岩手)の準備状況について(立身第71回大会長)

会期：2016年9月23日(金)～25日(日)

会場：マリオス、アイーナ

テーマ：東北の再生と復興をめざすスポーツ振興と体力医学

## 3. 2020年東京オリンピック・パラリンピックとの兼ね合いについて(甲斐広報委員長)

HP等でどんな貢献ができるのか、取組みを紹介できるコーナーを作成する案が報告された。東京2020参画プログラムに申請して認められれば東京オリンピック・パラリンピックの文言を活用できるので、申請を行うのはどうかと提案があった。

鈴木理事長より、2019年に日本生理学会と共催で第9回アジア・オセアニア生理学会大会に参加する旨が再確認され、HP等での取り組み紹介の案は見送ることとした。

## 4. アジア・スポーツ医学連盟の理事選挙について(坂本理事)

12月17日に香港で行われるアジア・スポーツ医学会の理事選挙について、引き続き坂本理事、勝村理事の案が提案され、承認された。